人気温泉旅館ホテル250選限定企画

山形県・蔵王温泉

深山荘高見屋

源泉かけ流しの湯を24時間

温泉 浴場

いまから1900年前、日本武尊の東征に従った吉備多賀由により発見されたという蔵王温泉は、日本最古の温泉地のひとつだ。1日8700㌧という豊富な湯量を誇り、湯治やスキー、蔵王名物の樹氷とお釜の観光に訪れる客で年中にぎわっている。

深山荘高見屋（岡崎重彌社長）は、蔵王温泉で5軒の宿泊施設を展開するタカミヤホテルグループの老舗旅館。創業は享保元年（1716）。温泉街の最も奥の高台にあり、当時と変わらない純和風のたたずまいをみせる「くつろぎの宿」だ。

同館のこだわりのひとつ「温泉」。タイプの違う9つの風呂それぞれが源泉をかけ流しで使うぜいたくさだ。湯量が豊富なのはもちろん、24時間、いつでも入浴できるのがうれしい。

本館1階の「長寿の湯」は、創業当時を思わせる昔ながらの木造の内湯。「離庵山水」1階の「せせらぎの湯」も、石づくりの露天風呂や露天桶風呂、ひのき湯、足湯が独自の趣をかもし出している。

貸し切り風呂は、従来の露天「吉備多賀湯」に加え、「山の慈（めぐ）み湯」がこのほどオープンした。50分で2625円。当日予約制。

泉質は「含硫化水素強酸性明ばん緑ばん泉」。胃腸病、眼病、傷のほか、美肌効果もあると評判だ。特に女性客に喜ばれそう。

もうひとつのこだわりが「接客サービス」。「いまの建物は292年目ですが、老舗旅館ならではの伝統を生かし、時代時代に合わせたおもてなしでお客さまをお迎えいたします」とは、同館常務の岡崎純子さんの弁。

「お客さまは大切な時間を当館でお過ごしいただくわけですから、心から寛いで、喜んでいただくために私たちは努めていかなければなりません。そんな精神を皆が忘れずに、徹底しています」。同館の優れたサービス精神は、常連客が多いという実績からも垣間見られる。

▽深山荘高見屋は山形県山形市蔵王温泉54。☎023・694・9333。http://www.zao.co.jp/takamiya/

源泉かけ流し、創業以来こんこんとわき続ける「長寿の湯」

リニューアル本館モダン客室

新潟県・越後湯沢温泉

ホテル双葉

温泉施設が一段と充実

温泉 浴場

新潟県越後湯沢温泉のホテル双葉（小林庄一社長）は10月初旬にリニューアルオープンする。「やすらぎ棟『花水木』」を増築、最上階の7階に女性専用のエステ&リラクゼーションを設ける。エステは従来施設の男女展望大浴場「空の湯」と結ばれ、同ホテルの温泉施設が一段と充実する。

エステは岩盤浴や酸素バーなど、女性に人気の施設を装備。経験豊かなスタッフが顧客の要望にキメ細かく対応する。

28の風呂を持ち、温泉施設にこだわった同ホテル。エステに隣接する男女展望スパも同時期に新装オープンする。マイクロバブルバス、アクアストリームなどバリエーション豊かな風呂がそろい、背景に広がる湯沢の自然の景色とともに楽しめる。

花水木は4～6階に1室ずつ、客室を設ける。それぞれ「花の邸宅」「水の邸宅」「木の邸宅」と命名。露天風呂や洞窟風呂が付いた特別の客室は同ホテルの新たな目玉になりそうだ。

▽ホテル双葉は新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢419。☎025・784・3357。http://www.hotel-futaba.com/

やすらぎ棟のイメージ

栃木県・鬼怒川温泉

あさや

温泉のよさに「絶対の自信」

温泉 浴場

栃木県鬼怒川温泉のあさや（木村和夫社長）は、温泉に絶対の自信を持っている。

同館の温泉は今から300年前に発見された、鬼怒川の川底から湧く独自の源泉。名称を「子宝の湯」といい、泉質はアルカリ性単純温泉。神経痛、筋肉痛、慢性消化器病、冷え性など、様々な疾病に効くという。

また肌触りのよさが特徴で、入浴すると古い角質を柔軟にし、肌を滑らかにする。この温泉の特質を生かした天然温泉利用の化粧品も商品化されている。

効能豊かな温泉は館内の様々な施設で利用できる。「秀峰館」屋上にある空中庭園露天風呂「昇龍の湯」は、鬼怒川の川面から80㍍の高所に位置し、周囲の自然の絶景を楽しめる。「岩風呂・桶風呂」と「檜風呂・舟風呂」の2つの浴場があり、時間によって男女入れ替えを行い、両タイプ愉しめるようにしている。

「秀峰館」はこのほか、1階に男性用「麻の湯」、女性用「紅葉の湯」の各大浴場がある。

「八番館」地下1階の大浴場「武夫鬼湯」「麗鬼湯」は、壁面に飾られた鬼のイラストが印象的だ。鬼にからまれながらの入浴もまた一興。発汗効果がさらに高まるかもしれない。

名湯をプライベートで楽しみたい方には、露天風呂付き客室や展望風呂付き客室がおすすめだ。「秀峰館」の最上階には「温泉かけ流し展望風呂付きグランドツイン」がある。天然温泉と見事な眺望を誰にも邪魔されずに楽しめる。檜、陶器、石と、3つの浴槽タイプがある。

「八番館」は露天風呂付き客室を備える。浴槽タイプは御影石、檜、御影黒＋檜で各六角形、四角形があり、計6種類。露天風呂部分は5・65平方㍍、デッキ部分は4・69平方㍍と、ゆとりを持った広さだ。温泉は全室にひいており、通常タイプの客室でも利用できる。

▽あさやは栃木県日光市鬼怒川温泉滝813番地。☎0288・77・1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

夕暮れの木風呂

八番館露天風呂付き客室

山梨県・富士河口湖温泉郷

湖山亭うぶや

富士望む露天付き客室

客室 館内設備

富士河口湖岸に位置する「湖山亭うぶや」（外川誠社長）。常に富士山を楽しめるよう工夫された浴場が人気の同館に、今年3月さらにゆったりと富士山を望める露天風呂付き客室が生まれた。

富士山望む展望台ともいえるような501号室。部屋の外に広々取ったウッドデッキでリクライニングチェアに座れば、真正面に逆さ富士が現れることもある。デッキ上に据えられた開放感ある露天風呂は、水中照明を完備。富士山はもちろん、夜には眼前の湖畔の夜景も楽しめる。

「和モダン」をテーマにした401号室はジャグジータイプの浴槽を備え、スライドガラスを開ければ露天になるつくり。入浴中ヒーリングミュージックを聞くことも可能だ。広縁のストレスレスチェアや広々としたセミダブルベッドなど、癒しの時間を演出する工夫で満ちている。

▽湖山亭うぶやは山梨県南都留郡富士河口湖町浅川10。☎0555・72・1145。http://www.ubuya.co.jp/index.html

開放感ある501号室の露天風呂

栃木県・鬼怒川温泉

花の宿 花や

大正ロマンを感じる静かな宿

客室 館内設備

栃木県鬼怒川温泉の花の宿松や（臼井新社長）は、女将が趣味で長年収集してきた竹久夢二の絵画を館内いっぱいに配し、別名「夢二の館」とも呼ばれる様に凝った宿でもある。四季折々の、決して豪華ではない何気ない野の草花と、そこはかないほのかな香のかおりが、大正ロマンを感じさせる静かな和の宿である。

従来、同館には露天風呂付き客室が4室あったが大変好評で、予約客が多く、すぐ埋まってしまう状況だった。馴染客の高い声に押されて、今年5月に、露天付き客室2室と、展望風呂付き客室3室を増設した。

自室に居ながら川のせせらぎを聞き、松籟を直接肌に感じての湯浴みはまさに至福の一刻である――とは、ある古くからのリピーターの言である。部屋に引かれている温泉は、弱アルカリ性単純泉で、神経痛、美肌、疲労回復などに効果がある。

この露天付客室と既設の同タイプの部屋は、よりゆったりと、日頃の疲れを癒やして頂こうと、最新のマッサージチェアが備えつけられており、女将の深いこころ配りが感じられて好感が持てる。なお、この新客室は年輩者や、足の不自由な人にも優しく、低めのツインのステージベッドが置かれており、評判がいい。

また、新しくこの7月にオープンしたばかりの「こすもす亭」は、テーブル席を配したレストランタイプの食事処。

子供の声など気にするお客への対応にと、個室3室も併設されており、細かい配慮が感じられる。料理は地元産の素材を多く用い、月変りで献立を考え、優しい味付けが、訪う客に好評を得ている。

よく手入れの行き届いた中庭の池のほとりの敷石伝いに鬼怒川の流れまで直接おりられるのは、この地域オンリーワンであり、「花の宿松や」は、絶好の立地を有しているのである。

▽花の宿松やは栃木県日光市藤原19。☎0288・77・1221。http://www.matsuya.co.jp/

露天風呂滿見の湯

露天風呂付き客室

長野県・上諏訪温泉

浜の湯

信州の旬、舌と目で堪能

料理 食事

長野県・信州上諏訪温泉の浜の湯（山崎壯一社長）は、観光客でにぎわう諏訪湖畔の近くに静かに佇む。高層階からの諏訪湖や日本アルプスの眺望や、24時間入浴できる湯量豊富な温泉が好評だ。その中でも一番の売りは、信州の地の食材を生かした本格会席料理だ。

京都出身、関西で修業した総料理長が、山菜や川魚、高原野菜、きのこ、信州牛など旬の食材で腕を振るう。魚介類は築地直送もの、おいしさに定評のある信州安曇野の契約農家が育てたこしひかり米の御飯と、随所にこだわりが見える。

盛り付けや器にも気を配り、彩りも豊か。メニューは月替わり。別注により桜身刺身や公魚天婦羅などの郷土料理も楽しめる。吟醸酒「浮城」と食前酒「香梅」はオリジナル品。夕食会場は個室料亭、部屋の選択が可能だ。

▽浜の湯は長野県諏訪市湖岸通り3―3―10。☎0266・58・8000。http://www.hamanoyu.co.jp/

信州の旬を巧みに盛り込んだ会席料理

群馬県・万座温泉

日進館

万病に効く日本一の高地温泉

温泉 浴場

標高1800㍍に湧出する「星とお友達になれる名泉」。日進館（旧・万座温泉ホテル、大野克美社長）のキャッチフレーズだ。

上信越高原国立公園に位置する万座温泉は、1日6万㌧という豊富な湯量を誇り、27種類の湯質は万病に効くといわれる。「昔から、万座に行けば体がよくなるという信仰があり、全国から多くのお客さまが訪れています。長寿の温泉郷として有名です」と同館の大野社長。「糖尿病が治る奇跡の温泉・万座」とのテーマでテレビ番組も放映され、話題になった。

8種類の天然温泉風呂を用意している。館内いながらにして湯巡りが楽しめると評判だ。

木の趣ある6つの浴槽がある。「姥湯」は皮膚病、リウマチ、神経痛、外傷の後遺症などに効くといわれる。「さゝ湯」はこれに笹の葉を入れたもので、笹の持つ血液浄化作用、細胞活性化作用が期待できる。

「姥苦湯」は万座最古の温泉の王様といわれる湯。難病を治した人も数多く、福田元首相もこの湯のファンだったとか。

展望露天風呂「極楽の湯」は万座で最も景色のよい温泉といわれる。朝早く起きて日の出を見ながら入れば気分は爽快。神経性ストレスの解消に効果を発揮しそうだ。

同館の健康志向は料理に使う食材（豆、ゴマ、わかめ、野菜、魚、シイタケ、芋）を多用。それぞれの頭文字を取り「まごわやさしい御膳」として提案している。

館内では毎夜8時から、プロの歌手による歌とトークのショーを開催。出演する泉堅（いずみ・けん）さんは同ホテルのオーナーでもある。

天然温泉と抜群の自然環境、健康志向の料理、楽しい歌とトークショーで、旅人の寿命も10年は伸びるかも――。

今年1月には新館「湯房」がオープン。設備がさらに充実した。

▽日進館は群馬県吾妻郡嬬恋村万座温泉。☎0279・97・3131。http://www.manza.co.jp/

極楽湯

大浴場長寿の湯

長野県・扉温泉

明神館

いやしを徹底的に追求

接客 サービス

扉温泉の明神館（齊藤茂行社長）は、自他ともに認める信州を代表する名旅館だ。「何もない山の中だが、それだけに心身ともにリラックスして、普段のストレスをそぎ落としてほしい」というだけに、接客や温泉、料理など様々な面でいやしを徹底的に追求している。

『また帰って来たい』と思われるようなもてなしを心掛けている」と齊藤社長。その経営方針を全スタッフが実践している。宿泊客一人ひとりの意向をさりげなくつかみ、その人に合ったベストな接客を心掛けており、宿泊客のリピート率は高い。スタッフのモチベーションも高く、「お客さまに感動していただくことに皆が喜びを感じている」。

温泉は特に胃腸の病に効果があるといわれる。立ち湯、寝湯、湯殿、川沿いの露天風呂（混浴）で体感できる。

料理は地産地消をモットーに、JAS有機認定自家農場の有機野菜や地元の食材をメーンにした懐石料理、モダン和食、オーガニックフレンチ。素材の味を感じてもらうとともに、健康を考えて、味を薄めにしている。

▽明神館は長野県松本市入山辺8967。☎0263・31・2301。http://www.tobira-group.com/

落ち着いた雰囲気の談話室